【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公開番号】特開2019-99315(P2019-99315A)
【公開日】令和1年6月24日(2019.6.24)
【年通号数】公開・登録公報2019-024
【出願番号】特願2017-230910(P2017-230910)
【国際特許分類】
Ｂ６６Ｂ　13/18　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６６Ｂ　13/18　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和2年3月11日(2020.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
建築構造物に設けた昇降路を昇降移動する乗りかごと、
前記乗りかごのかご室に設けられた開口部を開閉可能に覆うかご側ドアと、
前記かご側ドアを解錠可能に施錠するかご側ロック機構と、を備え、
前記かご側ロック機構は、
前記かご側ドアに設けられたベース板と、
前記ベース板に回動可能に支持された施錠側フック部材と、
前記乗りかごに設けられ、前記施錠側フック部材と解除可能に係合する固定フック部材と、
前記ベース板にリンク部材を介して移動可能に支持され、前記乗りかごが停止する乗り場に配置された乗り場ドアを解錠可能に施錠する乗り場側ロック機構の乗り場側係合子と当接し、前記施錠側フック部材を施錠位置から解錠位置へ回動させるかご側係合子と、
前記かご側係合子を操作可能な強制解錠機構と、を備え、
前記ベース板は、
前記かご側ドアの上下方向の上端部から下端部まで延在するロープ支持面部を有し、
前記強制解錠機構は、
前記かご側係合子に接続された解錠用ロープと、
前記ロープ支持面部に固定され、前記解錠用ロープを支持するガイド部材と、を有し、
前記解錠用ロープは、前記ガイド部材に支持されて、その一端部が前記かご側ドアの下端部に配置され、他端部が前記かご側係合子に接続される
エレベーター。
【請求項２】
前記かご側係合子は、
前記かご側ドアにおける戸閉方向側である戸当たり側に第１リンク部材を介して前記ベース板に設けられた第１かご側係合子と、
前記かご側ドアにおける戸開方向側である戸袋側に第２リンク部材を介して前記ベース板に設けられた第２かご側係合子と、を有し、
前記解錠用ロープは、前記第２かご側係合子に接続される
請求項１に記載のエレベーター。

【請求項３】
前記ロープ支持面部は、前記かご側ドアにおける戸開方向側である戸袋側端部に配置される
請求項２に記載のエレベーター。
【請求項４】
前記第１かご側係合子は、前記施錠側フック部材に設けた伝達ピンに接触する伝達部を有し、
前記第２かご側係合子は、前記施錠側フック部材に設けた解錠受け部と係合する解錠レバーを有する
請求項２に記載のエレベーター。
【請求項５】
前記強制解錠機構は、
前記解錠用ロープが巻き掛けられ、前記解錠用ロープが延在する向きを変換する方向変換部材を有する
請求項１に記載のエレベーター。
【請求項６】
前記かご側係合子は、
前記かご側ドアにおける戸閉方向側である戸当たり側に第１リンク部材を介して前記ベース板に設けられた第１かご側係合子と、
前記かご側ドアにおける戸開方向側である戸袋側に第２リンク部材を介して前記ベース板に設けられた第２かご側係合子と、を有し、
前記第１かご側係合子は、
前記施錠側フック部材に設けた伝達ピンに接触する伝達部を有し、
前記第２かご側係合子は、
前記施錠側フック部材に設けた解錠受け部と係合する解錠レバーと、
前記乗りかごに設けられたカム部材に当接して前記第２かご側係合子の位置を保持するカムローラと、を有し、
前記ロープ支持面部は、
上下方向と直交する水平方向で切断した断面形状がＬ字状に形成され、かつ前記かご側ドアにおける戸開方向側である戸袋側端部に配置され、
前記解錠用ロープは、前記第２かご側係合子に接続され、
前記強制解錠機構は、
前記解錠用ロープが巻き掛けられ、前記解錠用ロープが延在する向きを変換する方向変換部材を有する
請求項１に記載のエレベーター。